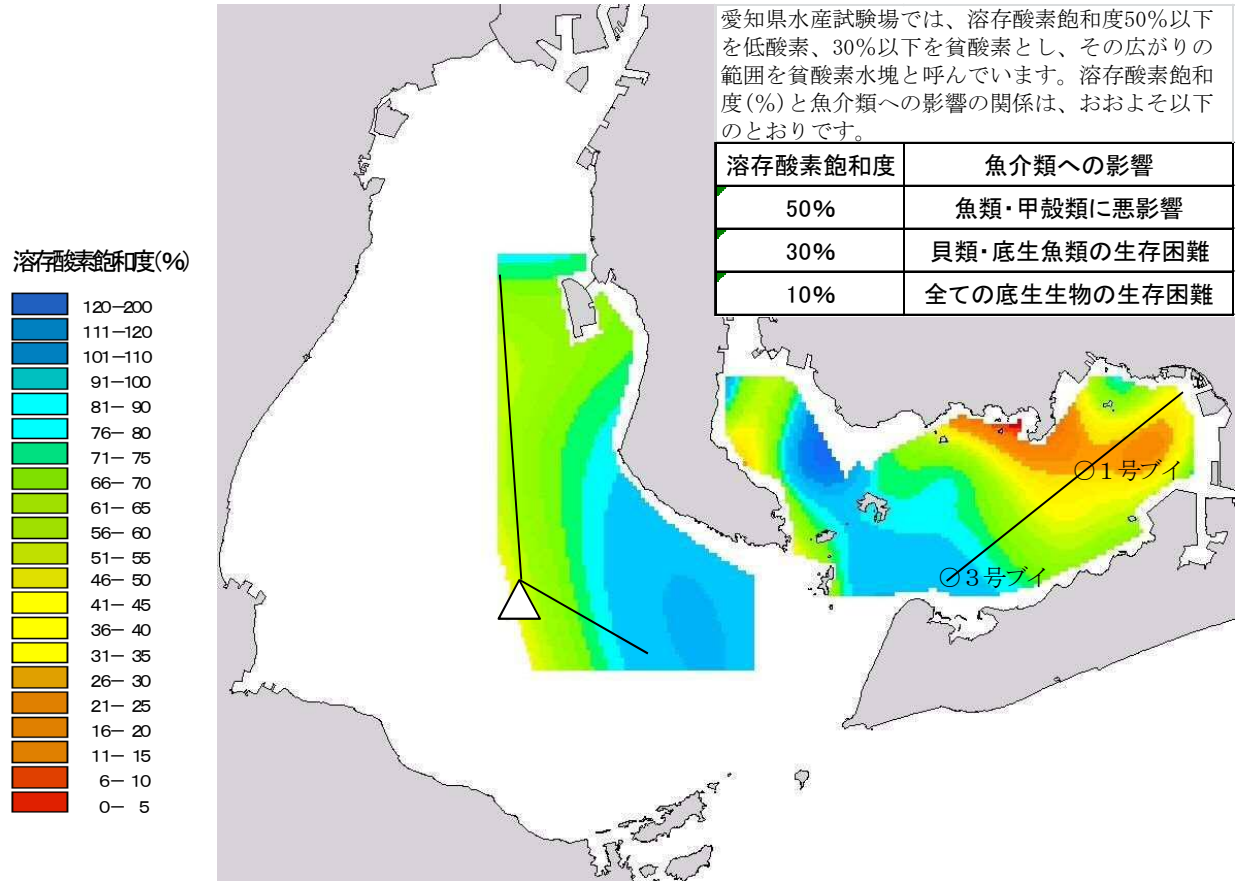


伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-18号)

平成30年10月17日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年10月15日に伊勢湾、10月15、16日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。



伊勢湾奥

湾口

三河湾奥

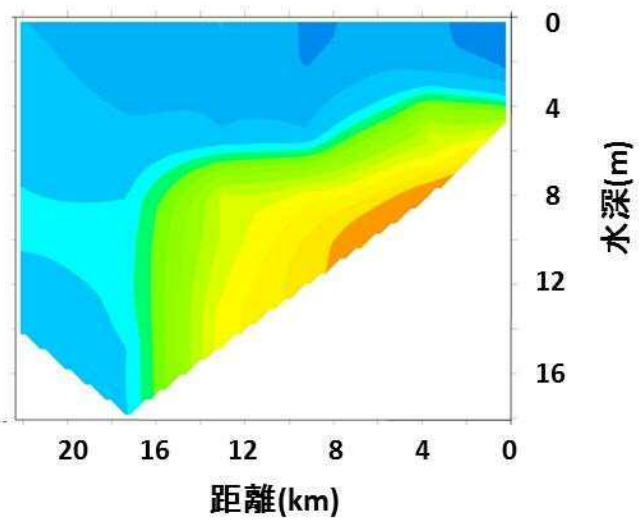
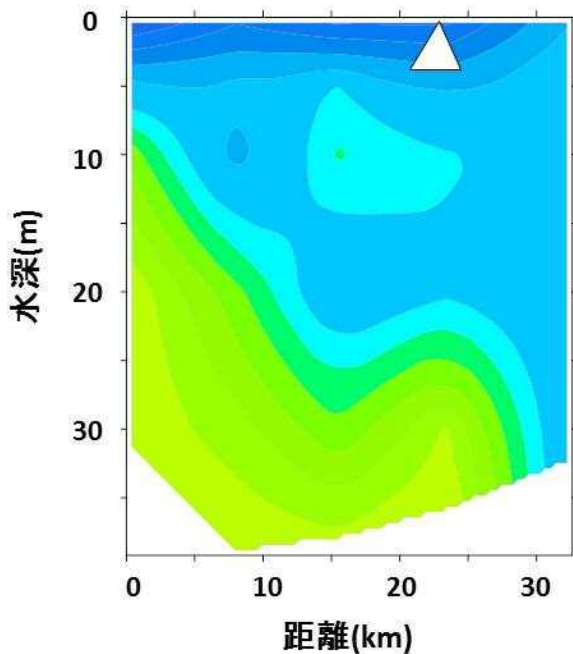


図1 伊勢湾(10月15日)・三河湾(10月15、16日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「へいわ」調査)

伊勢湾

10月15日の調査結果を図1に示しました。前回調査（10月2日）で確認された貧酸素水塊は、今回の調査では確認されませんでした。

今後は、海水の上下混合が起きやすい時期となるため、貧酸素水塊は発生しにくくなるものと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	22.2~23.6	27.1~30.7
底層	23.5~24.5	30.0~33.2

三河湾

10月15、16日の調査結果を図1に示しました。西尾市幡豆町の地先から蒲郡市の沖にかけて貧酸素水塊が確認されました。

風向風速は三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ（福江湾沖）のデータを（同1号ブイ（蒲郡沖）の風向風速計はメンテナンス中）、溶存酸素飽和度は1号ブイのデータをみました。10月12日に風速9.0~11.4 m/s（平均10.2 m/s）の北北西から北西の風が漸続的に吹いた影響により貧酸素水塊は一時的に解消しましたが、14日以降再び発達し始めている様子が観測されました（図2）。

今後は、海水の上下混合が起きやすい時期となるため、貧酸素水塊は徐々に解消に向かうものと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.8~22.7	22.7~29.9
底層	22.7~24.0	28.8~31.9

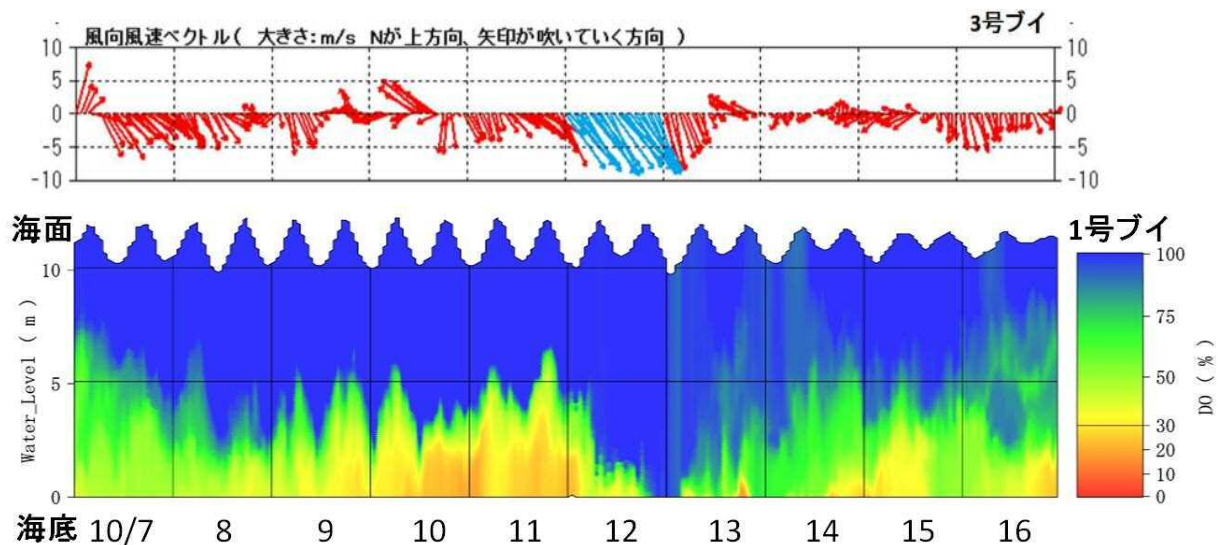


図2 風向風速の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ3号ブイ）（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（同1号ブイ）（下図）

参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

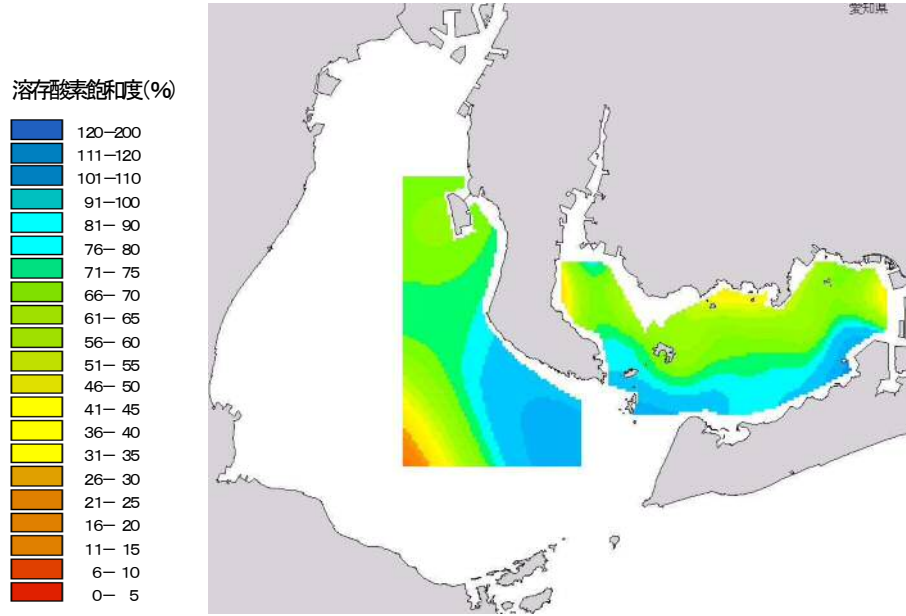


図3 平成30年10月2日 (伊勢湾)、10月3、4日 (三河湾)